

## 「2022年度タイ・チューラーロンコーン大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学医学部1年 小森樹由咲

## ① 学習成果

・今回の留学は2週間と短いものでしたが、様々なことを経験することができました。特に興味があったのがジェンダーについての考え方です。日本ではまだ性的マイノリティの人に対して一般的であるとはとらえられてはいません。タイでは同性同士のカップルも異性カップルと同じように堂々としています。また元男性の方が化粧品売り場で化粧品を販売している姿は日本で見たことがありません。誰もが当たり前人の個性を受け入れているところがとても感動しました。また時間にルーズであり、自分のペースでゆとりをもって行動するタイの人々をみて私もそのようなゆとりのある生活を送りたいと思うようになりました。また現地の大学に通うことで京都大学以外の学生生活を体験できたことが新鮮でした。そして他国で暮らすには現地の言葉、英語の運用能力を高める必要があると思いました。あとはジェスチャーなどを使えば意外とどうにか伝えられることに驚きました。また二週間だと異文化交流として実際現地の生活に入りこむことまではできていなかったと思います。まだ来客として迎えられていたように感じました。今後留学に行くときは半年、一年以上などの長期留学にいき、ホームステイなどを通して実際にその土地の文化に染み付いた暮らしをしたいと思います。

## ② 海外での経験

・タイに行ってみて逆に当たり前だと思っていた日本のよさを改めて感じました。交通の便の良さ、治安の良さ、食料の安全性、人々の経済格差など日本がどれほど恵まれた国なのか再実感することができました。

## ③ プログラム内容

・2週間という短いプログラムでしたが、タイ語の授業や文化についての授業が多くありました。1コマのプレゼンの授業以外は日本人のみでの授業だったのでその点に少し物足りなさを感じました。もっと現地のタイ人と一緒に授業を受け、コミュニケーションをとる機会が多いものと思っていたのでそこは少し残念でありました。しかし授業の発表の準備のために授業以外で連絡を取り合って予定を合わせ、食事を共にし、出かけることで絆を深めることができました。

## ④ 進路への影響について

・将来海外へ働いてみたいと思う気持ちがさらに高まりました。いろいろな価値観、文化をすることで自分の価値観を壊すことができると感じました。日本だと自分と異なる価値観意見をさけて生活することは可能ですが、海外で生活すると否が応でも異なった文化、価値観を知ることになります。そのような生活しながら働くということはとても面白いと思いました。